

☆☆☆コロナとわたしたち④☆☆☆

活動自粛のため、家にいることが多い生活です。家族で話をしたり、家の中で運動をしたり、テレビやネットを見たり、ゲームをしたりなど、それぞれ工夫をして生活されていることと思います。

一方で、テレビやネットには、コロナウイルス感染拡大に関係した情報が、大量に流れています。ほっとする暖かい映像もあるのですが、不安が余計に増すようなニュースや映像も、多く目にします。そんな中、子どもたちにどう情報を与えていけばよいのか、迷うところかと思えます。そこで、「子どもたちと情報」について、下に記しました。参考にしていただけましたら幸いです。

2020年5月 青塚 徹

1. 事実を正確に伝える。

現在進行している事態については、それぞれの年齢に応じ、理解できる言葉で、事実を正確に伝えましょう。どうやったら感染のリスクを下げられるのか、感染の拡大状況はどうか、万一感染した場合は、どういうふうに治していくかなど、伝えておきましょう。そのためにも、大人が、できる限り正確な情報と対応策を把握しておくことが大切になります。

2. 子どもの疑問には、率直に答える。

1. と同じです。子どもが感染拡大について疑問に思っていることには、正確な情報を基に、事実を率直に伝えましょう。

3. テレビやネットの時間の制限は必要です。

東日本大震災で経験したとおり、圧倒されるような大量の情報に、子どもたちを曝すことは、避けた方がいいでしょう。事実を伝えることと、心を圧倒する生の情報に曝すことは、全く違います。圧倒されるような映像に何度も曝されると、それだけで心がいっぱいいっぱいになってしまいます。その結果、ぼんやりしてしまったり、やる気をなくしてしまったりなどの状態に、なってしまう可能性があります。ニュースやネットなどは、時間を区切って見せるようにしてください。これは、大人も同様です。

4. 間違った情報は、正してあげる。

差別やいじめをなくすためにも、子どもたちがデマなどによる間違った情報を持っている場合は、きちんと正しい情報を伝えましょう。